説

町方領は此の抑に成素を見る生、

て、かくる戦目の形成に充分の考。原発戦門に緩められ、飛めらるくの教授無数の重視繁作成に、なつ、べきであり、しかもその内容は一

生徒、帰留に対し木の年度間常さ

岡士五分原宿郷御駐車宮城に置幸の御被定と求る

各語に照引を対象を反び、一方南

おが内閣洋に対する侵攻を広視眈

つて経緯の加く印度領内と進

學に望む 製年の教

時世分原宿野り宮廷列車に召る て年前十時十分宮城御出門、同十

さられ、同十一時十分文川戦御塾

一時間にわたって陸海地新館

で、トラック酸、マリアケ酸は、 「国人教的は出版には現カロリン語。 「アンヤル関係の」例に「いつい。テイ酸は、カビエン北方ムッギリマーシャル関係の」例に「いつい。テイ酸は、カビエン北方ムッギリアン酸北方のアドミラル

主力を大平洋海域に最高、ニューナなはち来劇はその様でる際間の

テニヤン各間に、さら

わがラパウルおよびカビニンの孤

方面米斑と呼吸して比削および

された、この日 審査部に行率あらせられる画仰出

大元帥陛下には略式自動車威がに

歐の神經をこの方向に集中させ一た、際はこの神出鬼災のわが作成

する歌を尻目に忽ちこれを占領し

ヒマ地属に新たなるわが短面弱力

かいる折も折インパール北方コ

大元帥麾下におかせられては苛烈な

日本単はインバールを開方より

く無を容字れ東南アジャ軍司

政進しつつめる陸原軍航空関係首 のため新館航空圧器の研究考案に る感易下ひたすら微航空長力解説

脳部の努力の結晶を関はせられる

侵攻企圖は露骨

來襲機、頓に增加

でも側式部助東京でて五十型を図り、そうと無してあるが、過去度参の まると無してあるが、過去度参の

ことで、企業中均百以内外だつた

歌眼すべき気に達するに至った 部、南部太平洋とも展局に関

夜間潜没中の

敵潜艦も屠る

哨戒機、護衞艦艇活躍

いてわが船頭前方に破壊水艦を競

ってから敵機戦が著しく均加した とくに注目を要するのは四月に入

米関は大学符に集結せる祭母だけ

してある

榜延機動一平二百六十七极に鉛

|ものが最近では百五十機から||百 | 長時間にわたり附近一幣に情味と

機にのぼってある。かくの如く中

なって贈ってあた

てをらうともわが有力なる航空兵

カの運動両側に遭へばその悉くが 五十級、六十年の大祭禄群を擁し

あり、かつまた戦米の大平洋は

すく際化し、とくにその

に歌天な信敬推成にわたって歌目 出助中のわな問題被領の明形機は「〇〇茂和九月回盟」構作に北京・東方面信制権域に吹撃を断いて

からは最適が消出、現と場際数十

國

盛を投射、重油が附近洋上に機ひ

中南部太平洋『緊張

うの政第四国間主力を開方チ

となった域は概意を喪失してバレいで一日にはタムが陥落、越崩れ

三師願はインパール盆地に目的軍

職認能はいまや最高初に達し、欧八日級コインバール周器における

【印度前線〇〇にて小松鞮道班與 推躍をつぎ

止まらず

攻略せんとしたが不可能なため

かくて去月廿日のモレス攻略につ を連続、第四軍閥を孤立化させた

権ならびにカバウ谷地におけ

現 中部に顧問境をめぐる公職

敬道班員八

『てビルマ 反攻の最大策震知と特一のチッカに間に顧照なる抵抗を見

ンザン方回の腕は関境線確保のた

のだインベールは最早わが方に全 一般の金融的回機とならんで確が

敵陣營類勢に混亂す

敵の意表を衝く

覆面强力兵團

の第〇〇前線八目同則1日編/方面|陸軍電|周談、 際次各方向から なが、ドウイン河を奇勝消をあらればに微観し三月中境ホマリン南方地域である終末の三月上域よっずと同じに微観し三月中境ホマリン南方地域である終末の三月上域よって以下の一般である。

東京 ひ郷間は最高都となった。 同盟」素関政府は表るコマ コツク市が首都としての 首都の定礎式

いふことくなり、この

市の建設を続いであ 二日その圧勝式を開

あつたが、南方民國は二日コヒマ

後補地として

際版で が残べ包服閥を

翼にコヒマ奪取に謝足するもので総大なるものがめらう、わず鎮は

日间間コスイス政

ら正式の謝罪を提受せる旨愛敦し

間によればマンチエスター

関においても同様形野談が の念を担いてをり、ワシント 能によれば八日のワシント 能によれば八日のワシント での道り報してる での道りでしている。 での道りでしている。 での道りでしている。 での道りである。 これまで数

その他エルベ、ウニーゼル衙河 個の各間やなガッイルル地上窓 に対いて編別な知りを加へ ためが単面が続けエルベ河以 度に接入するを得す。開鍵加協 に執筆を終了して選正した。 敷 のを描述されて明点が、現在まで

単毛へ

「リスボン八日同田」ロンドン來 米英紙、前途を憂慮

來電=アメリカ海域省は八日開敞

印度感線の英紙指揮官は現在国

米海軍損害小出し

一次の諸語語を続いた問題の際の

劉する日本服の獨威で若り

學院吗、四二 全計四三、五 四一人行友(明九、三八一人 配死一八、三元七人敬陽一)、

ス領侵犯

関レスイス政府は八日米別支がら

に協力支援し、英米を、海立の怠惰に燃える

置と近る

この昭本マリンがひその北方地画に於て赤シーニッシュ。然に振河さるわず明力なる日間財命を経済が正常観を観光を開かれている。日本のは然知っていた。四月がは然知った。 し一の包閣圏内に郷々死か降伏かの

である

ベンガル、アツサム銀道の脅威 身した頭大なるわが一足のは突が 金を辿りつくあると芸蔵野様 すなはらウクルル方面よりマニ

前を打つて過年する概念

た頭大なる一個の短面丘閣は時來 展開しつくあるが、コヒマ東方よ

渡河して大アラカンの曖昧を踏破 道西側を北上した部隊は七日早く 淡路を

楽断一方コヒマ南方より

のである 日本語、六日早朝これを野取した でもなく南方マニブールに到して 一日マの傾信は今里五人するま 發】六旦朝 加員八日 ル、コヒマ海に海田 印度前線〇 7 とと思る中のではない、印度園民 北方に進出 において自滅の運命に陥つたこと

コヒマ周辺に比烈なる魔波蔵を を選ぶべき選師に立ち至ってある「職職数子に対して無攻略の火災を **収象の加く肌器を求めて質化方に「ソドウイン河を部敷を囲いた我が四分五線の流動が脱り膨った地は「緑紫地球に映画して0月0日。子の日からのでは、からしてわれる地域がに、を目指して行動を開始した我が新り** 画を確保してこの方面への敵退路 | 飛台八日後3 牙腺インバールもコヒマ、デイマブール道上の栗 | (印度前線〇〇にて小松 小流 脱出せんとのたうち廻つてあるが一型力なる傾面の三層民間は枚続層 でに水心視らさぬわが色際 ンタ

的に突入、確認和次いで各部隊は

際に肉頭攻撃をもつてコヒマの一

東部アツサム

滿洲國幣流入措置決る

きのふ歸鮮の水田局長語る

大大日(火)第一日總督 十八日(火)第一日總督 十八日(火)第一日總督 十九日(火)第一日總督 十九日(火)第一日總督

と接張したといはれる

總督府辭令

ドイツ南国紀ならずに地上和火ドイツ南国紀ならずに地上和火

うち爆監機指機はプルンスウイラも爆監機指列・九規を専兵した機関を軍は緩略機指四機・戦闘

題の指配であるが、
企來の無制

敵、濕地帶に右往左往 ムより 一を駆所に捕捉威滅中である 経練のがく市内に数銭し六日本

境のことで大一生リインバールに移動中の酸に関す、原車能が石柱を コヒマ占領 けで今晩の影響が劉人に駅だして

能によればマウントパツテン 局がは北、東、南三方面から に四十キロに過ぎない動を指述し 更のコヒマ占領に関しても口を脚 ある誤覧をことざらに際敗し日本

たわび橘鉄路部県は印度領内に入ル路上圏増北方ナキロ)を急慢し 朝ヘンタム(トンザンーイ

ってより母き足立つて過斑をつつ

部の部隊をして経敗の減減を敗

キロ) 南方諸地は向って極かの逝

の下に網攻撃を開始するものと

地に大塚を集組してあずでにマニブール公路

わが方の地上の損害は虚似であつ カビエンに

陸鷲、桂林を



B ◆それに比べると、断機が恵気を をのだから、今私べても事実しい く『京を九月一日に地震が来る』 年の八月頃になると、離いふとな

衣料の决戦体制 料水防



A BU

(カツト)東部戦劇の泥濘に活躍する獨工部隊 盟」ペルリン殊配 米正定機罪 日午前駅時一分よ るがひと言八日

切り、五日夕湖には早くも先方部 | 情勢を感慮してある様子である

「虚異八昌盟」可感放落はイン 失陷すべし 月十九日再び東上した水田財務局 長は源京中の日景を終へて九日夕 【釜田恒點】職歯型筋を群びて三一

れを略落せしい残骸

すなはち南方および東南の日本 ら商次北方戦級へ移行してある 一覧局の軍大化を左の如く 刻關鮮、同夜七時四十分釜山於

際道ホテルで少

の知點に布陣してあるが、北方

重はインバールを阻る七十キロ

聴翁超粉の最後の絹めくくり 見だので感激し 活師された外地人官吏の加俸制案件としては政務線階が非常に

それから満洲図幣の鮮内流入間 一百十三機來襲

脱機率合姓。百十三種がラベウルーン脱機等ド・リなど五十六種がニーマベウルル日间間。七日は間臓・グラス緑峰下線関地でルドクラマ ラバウル 七機を撃墜破

製、所在部隊はこれを設職、下B

【ラバウル九日同盟】七日午前ダ 天候を断き運織攻略をもつて組林といいのは、「〇〇基地九日同盟」わが陸軍航」と

五十六機

でな中の敬格が結を利見、これの内が明戒権は報道符によっての力が明戒権は報道符によって 古の洋上に開朕となって MAR CAN TO THE TO THE STATE OF THE STATE OF

人では、あまりにも無関心が至は る。然るに、完成といることに到 特にその必要を痛べるせられ

图は酸な 英米蔣 同類世 **デアライン**ク

(藤原〇〇戸平太平中) 聖海く在に滅撃敵下の護権機闘戦

一級製質の製動を行ひ、大いに決

の近鏡(埃たないが、現下関系は、その数

る。自つまた川東線線については、かまた軸とないて幼司に軸と対しての生物域のかは地に行わるくく立然含るくきでも、何らば下するか、近下しなる側は、切に行けるくく立然含くさでも、何らば下するか、近下しなる側はか

指摘としての演奏をより、一

一次 ると共に、知識技術を疾跡を得せ

観念を密塔して國民新神を検養すの本後は、真関の道に則り、原医

答として生産動物と単類動物とを 一門下放荷では場合などうでもよ

くてはならないのである。若し次

子につき、四月の海星進級の数び 円折たる

見物長

た速かに新行の

櫛

大なる時機に

だいて、

その第一世

なってゐる。この動勢修練は、内 は中部風校に例をとつて見れば、 の展開は常である。既に動め修練 練と動勢機能と無料を見る 面を構るべきである。

なっていてが分れる前継をとうは、時間を解放

に加入て、ことに聖男優級の時間

ものと彩ふべきである。かくて、

でに指して京都奇費であり、劉松である。故に崇科の劉章は、今ま である。故に無料の数音は、今法

時間の撤収せられるる時と同じ、

しめ、星國民民だるの本分を至う

らるべく、その仕略の間隙を疑っ

それこそ頃に配ふべく思るべき

题与表现证,体部

○海がを新設【二日】伊民電見

地方廳事務を簡素化

技術新能質を設置した

◆足院馬基爾語【四日】 實職院

機の効果は弱々性を結びつ

けて制度して後配算から沈没した 政潜水脈は 断首を 海面に 延直に上

加へ更に船頭の酸偽膳も現場に 政治水路を後見、これに爆撃を取る中のわが直筋機は潜汲中の 三月世一日午後00万旬の船脇裕水航は仮ない最後を遂げた

なほ明戒監修ならびに明戒機は概

遊してこれを修修し機能を投射し

断線の平常の努力によって脳関連無してあるが、これら哨形後、悪 するわが明光機、腰筋無限の活躍 管りばなとして地味な年齢に挺身

行、司会路後船上回船戦命中して、 洋上に潜図鏡を出せる陶滑水艦を一四月三日午削船側を方約十キロの

◆料型技術 帯臓器 を設置 [四]

器がみ、変化、変化が と前年度に比上 原四子成例の

統一軸に防空候跡の現代について上、田中政務談配すり官吏の足並

九年度地方後期は総額五線三百四十八年度地方後期は四日1十八年度地方後期は四日1十八年度地方後期は四日1十八年度地方後期は四日1十八年度地方後期にある。

し、陸如明登第王俊定地區の選定日」十九年度の附米完全選成を開

総指載者を設置した 一面的統力が概定る味噌法人朝鮮地 取項を関連常識するため、科島一層総常面に対する本時間振頻の叫 間六十三、都省自の入資を決定へ間六十三、都省自の入資を決定へ 一年の東京では、一日の東京の東京の東京の東京では、1985年の東京には、1985年の東

= 本国の語の一次文章が支頭公司 東上、道星す 東京の記述、大学の記述、大学の記述、大学の記述、大学の記述、大学の 新生、道星す 婦人疾患に 共他皮膚病 **a** 7 マー 本会











印度内部の微妙な情勢が

「観営局は八日午後のブルンスウイ

ツク関係で大阪を喫した事質を認

「ストツクホルム九日同盟」ロンドン米覧によれば高國駐市米剛空

五十九機喪失發表

殿における『登大の敗北』を映れ附せるところでも米国は空中

どんな悪筆でも必ず

絕對的上

間

日間でペン毛錐共質に

び機事局監督官豊藤を開き裁判職 司法殿時間間の温素に現金を抑す に関係及び被察取締その他軍用 司法官會同 に朝学上時じ著房すべき結時司法法令の運用に練し類が明に縁し類 是後官協證。 她相同監督 (大) 梁三日越等法院部 高峰法院次院檢事希望 新利斯及乙級時局監督 新利斯及乙級時局監督 新利斯及乙級時局監督 新利斯及乙級時局監督 新利斯及乙級時局監督 新利斯及乙級時局監督 監督を制

海南島で一機を撃破の過ぎで駆っるつた 特に岩原すべき断如何

項につき打合せな行るが日程なら

脱線連合生二百十三種がラバウル 監察二個を緊逐、五機を医療した一 に来襲、所在記隊はこれを設盟、

「孫山九日同盟」八日朝韓ノースアメリカンB51 海が展開島並派アメリカンB51 海が展開島並派 わが方には被話はなかつ りその一機を大戦して関 錄戰血

カラットを連襲

されまでにも国際がないではなかつたが、あ あの関係の大概がは、

訓示を行ひ一同を感覚させた。

質によくやつてある、特に新京

馳せ参ず愛國の士

建路區の半島青年が總蹶起

るることを服の借りに見て非常

その代り彼には途に過度の日が渡

「奥里鬼愛の大席のもとにがせん」 と复数文を力弱く喧響、次いで南 と复数文を力弱く喧響、次いで南

紙を必ず持参

べれば、大原光脉清が除貨を代表

つ空間にくらくする頭を傾か

(=)

0

徳を磨け

〇航空廠女子工員入廠式

に、今日よりは無数形成の名誉 の母である、皆は今日より工員 実生中には航空機生産版に明確 ために盛大阪職なる人族式を建 眉字に張らせて巡く慈 宮城議群、國政権唱に継いて

學徒も造林。 勤勞で全鮮を綠化

けよう 電腦,一同人感銘を甦へた 階をと表面前境最べ一路突醒を 盤 【密陽電局】烈々層無子愛園心と一同氏は深島孤上南面出身数年前に 平山氏の美譽

工業校設立

職一大部を取目の八月、式冬了へ 響風梭設立資金提供に咲いた成別。愛郷心を謝疑して決盟増進へのエー

自除名臨席、挺身隊員約千

されるやう…」

四部内の日端六百萬省員中紀九幡 戦も歴はレンネン、この窓への勝一でも極はないのないのは端六百萬省員中紀九幡 戦も歴はレンネン、この窓への勝一でも極はない

一在城線合病院では、今後投資版を

二時間

前防衛準備

質量能力に逐調を與くることが比りして戦略時間を繋ばれ、翌日の

これでは総取者の数が非常に制能しているとが、

旅に接場したラジオにより敵の侵

傾相の残然により、普遍のラジオ

【新京院話】朝鮮被餐府孤湖大烟

に対しては酸酸に堪へない

を吸んで努力されてゐる話機関 する種りであるが、よくその意

滿半島壯丁 申分なし在

制はただ技が米人であるとい

こして飛行域の生態に強まれば、大定は、池田支の生物配丁級派を成れてならない。とうか、四様に日本大年の第一年版人配丁の観音を測を見るに職がない。とうか、年級人配丁の観音を測を見るに職がない。 のできるのでは、池田支の生物配丁級派をかられず、四様には、池田支の生物配丁級派をかられば、一般のでは、池田支の生物配丁級派をかられば、一般のでは、池田支の生物配丁級派をかられば、一般のでは、池田支の生物に丁級派をかられば、一般のでは、一般の

| がマイラとまなどうまうとすると、 | 一家を設置して収容した時故は長 | とつぶやいてのよる | のか自分には異し

やうに関りあがって

ら文部文は分音に回覧せしめると は臓に動機の脳があるので、その

では、水田・海際

(177年度開始) (日達取文) 网络歌歌 用外

頼もしき毛蟹 漁獲時期に入る

也祭

女

直は固く暦を関んだ、さらに

「清潔電話」所述に近りる職務(際六月までは今の低は微観され、 (電路) 道際は今々本格的巡邏報(登録物前が開かれてあるがまごと 順に入り、清潔の超過内の機器形 ことのもといぬして、過速の連絡 〇〇米まの一日の温暖的は女に五一は大きりものである

なつたもので、初診・再來を間は大な交響を來すので今度の指訟と 郷では今後、殿者の診療上にも耳

水薬お斷り

単大山)資金取扱・0元31 金融機関指定・0元31 金融機関指定・0元31 は十九年度別部中小河下電景金融 は十九年度別部中小河下電景金融

も一層の物質を用が更早されるも一層の物質を用るのと思ばれ、ここにではいるものと思ばれ、ここにないののでは、 ことくなった 扱い金融機関をこのほど五ケ所に 著の積極的活用をはかる

場職

整金属接合剂

京城職業紹介

所

看護婦養成 清渊醫科大

所學

・もしな音楽局八二八摩内和場所・もしな音楽局八二八摩内和場所中盛初音町 寫匠殿社科 湖

元七年本の七八一

粉コークス需要者各位に告ぐ は別が11年の一方では対している。 がカークスに対している。 がある。 和十九年度上則分大口需要(月節九極以上) 和十九年度上則分大口需要(月節九極以上) 和十九年度上則分大口需要(月節九極以上) に式通知提出相応度。此段語合位では を可じた研究と認識を経過です。 を対して研究とのでは、 を対して研究とのでは、 を対して研究とのでは、 を対して研究とのでは、 を対して研究とのでは、 を対して、 をがし、 をがし 京日東內科全(前金) 原河 河 1年1回 橋公 河 河 1年1回 橋公 河 河 1年1回 橋公 河 河 四金纸牌画八座乐牌画八座乐牌 四金纸牌画《全四版

明子 法 野 豐 仌 郎

京城府水道開始事業注町三二一月八日

成興職業紹介所 職業

所

紹 介

の中に位被服帽子、掛蜻、地下足炎等を支配終了後は乙種工翼卒業程度の待遇をなす際により差異めるも相が最遇す

三分の一に償り、その効果像大な 態徒一日の奉仕に依つて変行

全般の選進 | 三四十四人が一人一 一千萬本郎ち大約六萬町歩の道

増産に固き書ひ

でれて決勝下の燃料型が増配に大一般のかる人用な調示・整理技能・ の新報州密度」工業立地転件に属一がその正人最小を移して臨居・ 配

で急遽した。この気には同日中間一条代表して北川銀が観覚なる職みから順田工場長以下の〇名の全直(と万穏く呼びかり駅に帰職士)同

北部ピルマ降下空襲部隊の計扱を

政空間に前時する明空間が関は難するところれる機能 5 てたり 派域に出っては打造、無難だったと

生れの他の通識とこもに転機深る。た、後にクライズーはピンソン財

の時から急速に目覚めたのであつ

答を限けば加入劇場の演繹すべが、同協領の企業から開射の内

にピアノの質で深る情能に強いて

東音を発施し、図解の本際に基 東音を発施し、図解の本際に基

らベルリンと接近し目下ドイ酸の微粉な酸副酸陽が時北方

あるが、特に背似なる観局の別

ので、近郊の住民も一様に駐油な

に運動を展開し続後半島の赤殿と鮮もこれに呼順し同期間に積極的

の赤賊を降けるととなった、

元酸に流たると言うことに

通加工々場は今後一切閉解

十團體を縮減

中島演劇界、再訓練

新聞化に乗り出すこととなった な教徒に半島頂側部門の側部的制

消防師の活躍を除うて救護に近身

が、得るのは、三角中の連絡は金融のやうだ、医院の部が動に消費を、た語で初めて有様の際面に實用となしく、指導を指表にする影響がある

副木は所謂。是国木を

佐は一本の竹を毛布の

つて改き毛布を内間に折り退へ、駅よいるは、別別を入ってから、頂中に適当者、な路線をむ、東に勝根を載くのから発生すると

抱る。たるうだがこれもおくさせられる

慶北日婦號

概食の迅災なる場面を行ひ、前級

待宿締

二、其 放 数 他

奉戴日に献金

数力も抵配出来ないから値を言う

思ると皮膚科を生する岩が大分出

に対象なく斑身せしめることとな

この音響を味ばればようないことして見たが、個用方法を示うに納れないから三角中に代名は中、骨

得しないところから役立たない物・折に使用する柳木、またあればヨ

だらう、機能のショ 明となるももある

り同山がよいと含まれる

北た、東田機(風北日機機)、腹線

新金 京都道線で出来が付款 線理金川・孫涛方、念磯市つて九

東京は見しい、防霊師を原序物分とはないが、全部の家庭にはま

された一朝・ヒンで演得のピンプレスのための意思がスート・テンド、アルコール教育の語のでは、これの場所のに、れた他者のの意思がスート・テンド、アルコール教育を

が基際された物配りである。米空電少島アー・するに至ったが彼ら腫成たらの話を綜合する

くる窓来職践と原則人を消滅する彼らの日常、器にベウンレビンフでや水量に復意され様人にいるのを機関された一部のグライダーから伏した、げ聞らうとラヤングルを抗復すると三種間、「にルマのの薬剤・日間閉」これは最近わが、た、彼らはチンドウイン河を減って間底に添

英兵、米將校を虐待 敵空挺隊にこの軋轢 氏の好演に隠へたいと思ひます

で市民は影戦中、安心して待機出 明るので、存于まで監験な等も為「樹を整へてある」 で細文でられ、 で細文でられ、 ・で細文でられ、 來る、また概念的にちょうとラジ られたラジオにより珍一般に

増産に感謝供出

格響性激性無影的學人

(m) 多帧熔查、口頭於問 (m) 多帧熔查、口頭於問

たして関国語を

社客託献金

用蓝 以下的数 理 (C) 表 (C) 和 (C) 表 (C) 和 (C) 表 (C) 和 (C) 表 (C) 和 (

國防献金、[四] ▲五十國防献金、[四]

酸極してあることだ、

全線含ん複響さん。、 出西日か 一たが、その総能整成と、関立主義 も十九日までの六日間に関いた間 を基子へきてはないと随い観光と 一型に軍人を影響観測を立路し、して本地では耐し では、「本人社を取り機能し、」して本地では耐し 廿四日から、軍援運動、 「日南」を断い構設加工家の総職で発展的解散 糧穀加工組合

臺光空

一、求人者。藍屬語與四國語